



(公財) 山階鳥類研究所

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115  
電話：04-7182-1101 FAX：04-7182-1106  
<http://www.yamashina.or.jp>



## 第19回山階芳麿賞 上田恵介 立教大学名誉教授 への 贈呈を決定しました

第19回山階芳麿賞を上田恵介 立教大学名誉教授に贈呈することを決定しましたのでお知らせいたします。山階芳麿賞は国内において鳥学および鳥類保護に顕著な功績のあった方（団体を含む）を讃える賞で、平成4（1992）年から実施しています。



上田恵介 立教大学名誉教授

贈呈理由（添付資料(1)参照）のあらましは、鳥類の行動生態学の分野の多岐に亘るテーマで、野外観察や野外実験などのフィールドワークを中心として行った研究により顕著な成果をあげ、後進の育成、普及啓発にも貢献された幅広い功績が山階芳麿賞選考委員会により評価されたものです。

### 山階芳麿賞（やましなよしまろしょう）

日本の鳥学及び鳥類保護に顕著な功績のあった者（団体を含む）を讃え、わが国の鳥学の発展並びに鳥類保護の振興に寄与することを目的として、平成4（1992）年の山階鳥類研究所財団設立50周年を記念して設けたものです。賞の名称は、山階鳥類研究所の創業者、山階芳麿博士の功績を記念しています（添付資料(3)をご参照ください）。

### 記念シンポジウムを開催します

第19回山階芳麿賞の贈呈を記念したシンポジウムを下記日程で開催いたします。

【名称】第19回山階芳麿賞記念シンポジウム

### 「子を他人に預ける鳥、 カッコウ類研究の最前線」

【日時】平成28（2016）年9月24日（土）

【場所】東京大学 弥生講堂

東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内

【演者】

上田恵介（受賞者、立教大学名誉教授）

田中啓太（慶應義塾大学文学部）

佐藤望（認定NPO法人バードリサーチ）

【参加費】無料

【申込み】不要

【主催】(公財) 山階鳥類研究所

【共催】朝日新聞社

※なお、賞の贈呈は、7月13日（水）に山階鳥類研究所の東日本地区賛助会員の集いにおいて行います。

※この資料に掲載した写真（デジタルデータ）をご希望の方は下記までご連絡ください。

本件についてのお問い合わせ先

(公財) 山階鳥類研究所 広報主任：平岡孝

電話：04-7182-1101 FAX:04-7182-1106

## 山階芳麿賞の贈呈理由

山階芳麿賞選考委員長 林良博

上田恵介氏は、鳥類の行動生態学の分野の多岐に亘るテーマで、野外観察や野外実験などのフィールドワークを中心とした研究を行い、顕著な業績を収めました。採餌生態や繁殖生態の研究として、一夫多妻のセッカを対象とした繁殖システムの研究を手始めに、オーストラリアの鳥類も含む20種余りについて研究を行いました。鳥と他の生物の間の相互関係に着目した研究として、ムクドリやカラス類などの種子散布、メジロの吸蜜・盗蜜行動といった鳥と植物の共進化、ジュウイチ、アカメテリカッコウなどのカッコウ科鳥類を対象とした托卵鳥と宿主の共進化の研究も行っています。特にカッコウ科鳥類と宿主との共進化についての研究成果は、重要な新知見として**Science**や**Biology Letters (Royal Society)** など科学分野の一流誌にとりあげられました。さらに生物地理学と分類学にかかわるものとしてメボソムシクイ種群の地理的変異と分類に取り組んだほか、近年では鳥類の巣に共生する昆虫類、福島県の鳥類相と空間放射線量との関係などの研究にも取り組んでいます。

上田氏の貢献として若手の育成も重要なものです。上田氏は2002年から10年近くにわたって江口和洋氏と共にオーストラリア熱帯モンスーン林で協同繁殖鳥を中心に生活史研究を行ない、参加した学生やアマチュアを含め30余名の日本人若手研究者に、野外調査を経験しながらトレーニングする場を提供しました。さらに、鳥類研究のセミナー「鳥ゼミ」を26年間、200回以上にわたって主催し、主として関東圏の研究者や鳥に興味を持つ一般の人々が毎月のように集まり、国内外の研究の現状を知り、互いに切磋琢磨しあう場となりました。

普及啓発の分野においては、多くの知見を紹介しオリジナルな論考を含む科学的に価値の高い一般書をいくつも著しています。

2014年に立教大学で開催された国際鳥類学会議の日本開催にあたっては、招致委員長ならびに実行委員長として招致と実施、運営に尽力し、日本の鳥学と鳥類保全が世界に深く認知される機会を提供し、日本と世界の鳥学の活性化に寄与しました。

山階芳麿賞選考委員会は、これら、多岐にわたる研究から後進の育成、普及啓発にいたる幅広い功績が山階芳麿賞にふさわしいものと判断し、第19回山階芳麿賞を上田恵介氏に贈呈することにいたしました。

なお、上田氏には山階芳麿賞の選考委員をお願いしていますが、今回、上田氏を推薦する応募書類が届き、賞の候補者になりましたので、今回の選考は上田氏に出席を遠慮していただいていたことを付記いたします。

## 第19回山階芳麿賞受賞者

### 上田恵介博士

うえだ・けいすけ

1950年12月1日 大阪府枚方市生まれ

専門：行動生態学・動物行動学・進化生態学

73年 大阪府立大学農学部卒業

77年 大阪府立大学大学院農学研究科 修士課程修了 農学修士

85年 大阪市立大学大学院理学研究科 後期博士課程修了 理学博士

85年 日本学術振興会 奨励研究員

89年 立教大学一般教育部自然科学科 助教授

95年 同大学 理学部 総合科学講座 助教授

97年 同大学理学部化学科 助教授

01年 同大学理学部化学科 教授

02年 同大学理学部生命理学科 教授

16年 同大学理学部生命理学科 名誉教授

日本野鳥の会副会長

【主な著書】『行動生態学を学ぶ人に』（共訳・蒼樹書房・84）◆『一夫一妻の神話－鳥の結婚社会学－』（蒼樹書房・87）◆『鳥はなぜ集まる？－群れの行動生態学－』（東京化学同人・89）◆『♂・♀のはなし－鳥－』（技報堂・93）◆『擬態－だましあいの進化論－Ⅰ・Ⅱ』（編著・築地書館・99）◆『種子散布－助け合いの進化論－Ⅰ・Ⅱ』（編著・築地書館・99）◆『花・鳥・虫のしがらみ進化論－「共進化」を考える－』（築地書館・95）◆『小学館の図鑑NEO 鳥』（共著・小学館・02）◆『行動生物学辞典』（共編・東京化学同人・13）

【主な学会・社会活動】日本野鳥の会評議員（04～現在）、日本動物行動学会会長（07～10）、日本学術会議特任連携会員（10～13）、第26回国際鳥類学会議大会会長（10～14）、山階鳥類研究所客員研究員（11～12）、山階鳥類研究所特任研究員（12～現在）、日本鳥学会会長（14～15）

## 山階芳麿賞について

山階鳥類研究所は、平成 4(1992)年 7 月に行われた財団創立 50 周年記念行事の一環としてこの賞を設けることにしました。日本の鳥学及び鳥類保護に寄与された、山階鳥類研究所の創立者・故山階芳麿博士の功績を記念して、この賞を「山階芳麿賞」と名付けました。

山階芳麿賞は、日本の鳥類の研究及び鳥類保護に顕著な功績のあったものを讃え、わが国の鳥学の発展並びに鳥類保護の振興に寄与することを目的としています。

受賞者は「山階芳麿賞」選考委員会で選考されます。受賞者は、隔年度、原則として 1 名とし、選考の結果該当者がいない場合には、その年度の表彰は行いません。選考委員会は学識経験者その他理事長が必要かつ適格と判断する者 (5~12 名) で構成されます。受賞者の選考は、出席選考委員の過半数をもって行われます。

表彰は山階鳥類研究所総裁・秋篠宮文仁親王が行い、受賞者には表彰状と山階芳麿賞記念メダルが贈呈されます。記念メダルのデザインは、表・山階芳麿博士肖像、裏・ヤンバルクイナのレリーフとなっており、受賞年と受賞者氏名が刻印されます。ヤンバルクイナは沖縄県で発見され、昭和 56 (1981) 年に山階芳麿博士らが新種として発表した山階鳥類研究所のシンボルの一つです。なお、平成 15 (2003) 年度からはさらに副賞として「朝日新聞社賞」(賞金 50 万円と盾) が贈られています。

歴代の受賞者は下記のとおりです。

回数	氏名	所属・職名	受賞年月日	備考
第一回	羽田健三	信州大学名誉教授	平成 4 年 7 月 3 日	H6 年 11 月逝去
第二回	松山資郎	山階鳥類研究所顧問	平成 5 年 7 月 5 日	H12 年 8 月逝去
第三回	中村 司	山梨大学名誉教授	平成 6 年 7 月 5 日	
第四回	黒田長久	山階鳥類研究所所長	平成 7 年 7 月 5 日	H21 年 3 月逝去
第五回	中村登流	上越教育大学名誉教授	平成 8 年 7 月 3 日	H19 年 11 月逝去
第六回	正富宏之	専修大学北海道短期大学教授	平成 9 年 9 月 9 日	
第七回	樋口広芳	東京大学大学院教授	平成 10 年 7 月 4 日	
第八回	山岸 哲	京都大学大学院教授	平成 11 年 7 月 3 日	現・山階鳥類研究所名誉所長
第九回	藤巻裕蔵	帯広畜産大学教授	平成 12 年 6 月 17 日	

第十回	小城春雄	北海道大学大学院教授	平成 13 年 6 月 1 日	
第十一回	中村浩志	信州大学教授	平成 14 年 6 月 7 日	
第十二回	石居 進	早稲田大学名誉教授	平成 15 年 9 月 23 日	
第十三回	由井正敏	岩手県立大学教授	平成 16 年 9 月 23 日	
第十四回	長谷川博	東邦大学教授	平成 18 年 9 月 23 日	
第十五回	立川涼	愛媛大学名誉教授	平成 20 年 9 月 23 日	
第十六回	森岡弘之	国立科学博物館名誉研究員	平成 22 年 9 月 23 日	H26 年 12 月逝去
第十七回	日本イヌワシ研究会		平成 24 年 9 月 23 日	
第十八回				
(特別賞)	橘川次郎	クイーンズランド大学名誉教授	平成 26 年 9 月 23 日	H28 年 5 月逝去
(特別賞)	小西正一	カリフォルニア工科大学名誉教授	平成 26 年 9 月 23 日	